

人生最大の買い物であるマイホーム。二戸建て住宅をめぐって建築主と建築家の間に起こりやすい雨の「入」が実例を交えて紹介。「トラブルの原因は、雨りや設計変更、費用などのトラブルと対処法をまとめた「住宅の設計監理50の心得」が出版された。

県内の建築家をつくる「住宅の設計監理研究会」の建築家の仕事や、一般人に理解されていないから、本が両者の橋渡しになれば」と話す。(黒川裕生)

建築家と施主の

住宅の設計監理50の心得出版

トラブル対処法

著者は瀬戸本淳建築研究 建築主が建築家を訴える「フライハシーは確保し室(神戸市中央区)社長のケースが見受けられる。同つつガラス張りの住宅を瀬戸本淳さん(64)、黒田建書は、建築家が直面しやすと注文した揚げ句、「要望建築設計事務所(同市兵庫区)イイトラブル全例を解説しした内容ではないので設計社長の石田邦夫さん(64)している。

例えは自然素材志向に伴が提訴した事例も、建築主が提訴した事例も、建築主

2004年ごろから、井い、無垢材を希望する建築と建築家の認識のずれを護士を交え建築主とのトラブルは「必ず反るし、反り味にたまま工事を進めるフル解決を勉強する会を毎月方も含めて」「汚れが付こと危険性を指摘してい月開いており、「内輪話にきやす」など事前に済ませる。

終わらせず、業界内外で問リットも思いこみ限り説明設計図書通りに工事が廻を共有しよう」と出版を決めた。

近年、欠陥住宅とは断定できないようなさまざまな欠問題にそのを防ぐべし」とトハイブス。

同書は「下請け業者のパンキ職人を替えてほしいと



7人で手分けして書いた「住宅の設計監理50の心得」を手にする瀬戸本淳さん(左)と石田邦夫さん(神戸市中央区海岸通1、瀬戸本淳建築研究室)

県内の建築家ら「両者の橋渡しになれば」

頼んだのに、工事監理者が応じてくれず、仕上がりが悪くなった」と建築主が工務店と設計事務所を相手に起した訴訟を紹介。「二事業者と下請け業者との間には何の契約関係もなく、工務店以外に交代させる権限はない」と説き、「工費が抑制される中、最上の精度を求める建築主の要望に応えるには限界がある」と本音を吐いている。

瀬戸本さんと石田さんは「建築家は何でもできる」と誤解され、過大な責任を負わされがちだ。建築業界の仕組みと実情を知って、建築主と幸福な関係を築きたい」と切望している。

神戸市 彰南社書局
078-800-0001

くろく